

2023年3月期 決算説明資料

2023年5月9日

新明和工業株式会社

ShinMaywa
VISION WITH INSIGHT

2023年3月期 連結決算実績

- ※ 当資料に掲載されている内容のうち数値は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表示しています。
- ※ 当資料において「1Q」は3カ月累計期間、「2Q」は6カ月累計期間、「3Q」は9カ月累計期間、「通期」は12カ月累計期間を示しています。

2023年3月期 連結決算実績 サマリー

(単位：百万円)

	22.3期 実績	23.3期		増減（増減率）			
		2月公表	実績	前期比		2月公表比	
受注高	263,163	256,200	267,159	+ 3,995	(+ 1.5%)	10,959	(+ 4.3%)
売上高	216,823	222,000	225,175	+ 8,351	(+ 3.9%)	+ 3,175	(+ 1.4%)
営業利益	10,569	8,000	9,293	△1,276	(△12.1%)	+ 1,293	(+ 16.2%)
経常利益	11,821	8,700	9,902	△1,919	(△16.2%)	+ 1,202	(+ 13.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,907	5,600	7,313	+ 406	(+ 5.9%)	+ 1,713	(+ 30.6%)
受注残高	210,338	244,538	255,859	+ 45,521	(+ 21.6%)	+ 11,321	(+ 4.6%)
ROE	7.7%	—	7.6%	△0.1pt	—	—	—
ROIC※	5.1%	—	4.4%	△0.7pt	—	—	—
為替レート (1USドル)	111.9円	130.0円	135.5円				

※ROIC = 営業利益 × (1 - 実効税率) / 投下資本 (= 有利子負債 + 自己資本) の期首期末平均値

前期比

受注高

- 「産機・環境システム」「流体」「パーキングシステム」セグメントが増加し、全体でも増加。前年に続き、過去最高を更新。

売上高

- 「特装車」「その他」を除く全てのセグメントで増収となり、全体でも増収。

利益

- 営業利益は、円安効果はあるものの、鋼材価格の上昇等により「特装車」セグメントが大幅減益となった結果、全体でも減益。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損益の増加と税金費用の減少により増益。

受注残高

- 売上を上回る受注が続いており、増加。(手持月数は13.6ヵ月)

2023年3月期 連結決算実績 セグメント別

(単位：億円)

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	22.3期	23.3期	増減	22.3期	23.3期	増減	22.3期	23.3期	増減
特装車	1,186	1,141	△45	971	913	△58	53	7	△46
パーキングシステム	381	399	+ 17	380	386	+ 5	30	26	△3
産機・環境システム	370	488	+ 117	255	334	+ 78	17	29	+ 11
流体	221	251	+ 30	207	244	+ 36	31	39	+ 7
航空機	317	241	△75	191	231	+ 39	△8	13	+ 22
その他	154	149	△5	160	141	△18	9	7	△2
調整額	—	—	—	—	—	—	△28	△30	△2
合計	2,631	2,671	+ 39	2,168	2,251	+ 83	105	92	△12

※ 当連結会計年度より報告セグメント区分を見直し、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	22.3期末	23.3期末	増減
現預金	26,600	22,745	△3,854
売上債権	70,945	71,417	+ 472
棚卸資産	46,925	53,802	+ 6,877
有形・無形固定資産	45,306	45,191	△114
その他資産	31,429	33,749	+ 2,320
資産合計	221,206	226,907	+ 5,700
買入債務	25,898	27,310	+ 1,412
有利子負債	52,254	52,417	+ 162
その他負債	48,792	46,739	△2,053
負債合計	126,945	126,467	△477
自己資本	92,465	98,747	+ 6,281
その他純資産	1,795	1,692	△102
純資産合計	94,261	100,439	+ 6,178
負債・純資産合計	221,206	226,907	+ 5,700
自己資本比率	41.8%	43.5%	

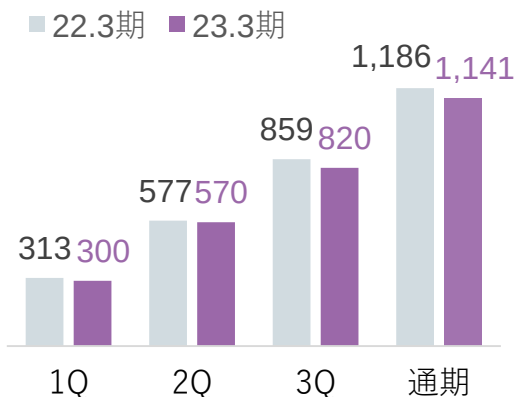
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

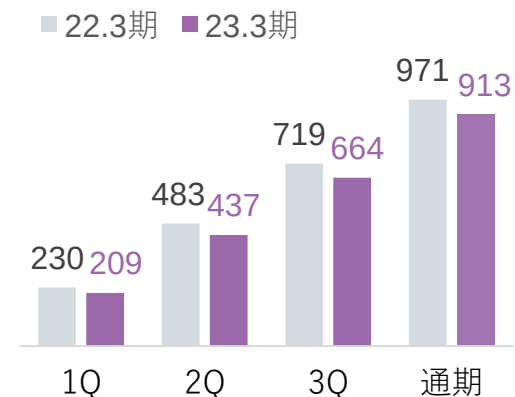
	22.3期	23.3期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	15,998	6,404	△9,594
投資活動による キャッシュ・フロー	△7,221	△7,164	+ 56
フリー・ キャッシュ・フロー	8,777	△760	△9,537
財務活動による キャッシュ・フロー	△5,203	△4,108	+ 1,095

業績推移 (単位：億円)

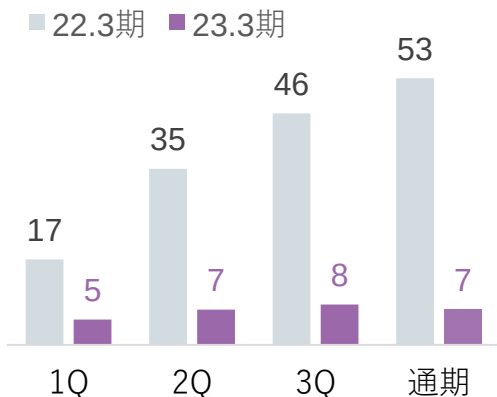
受注高



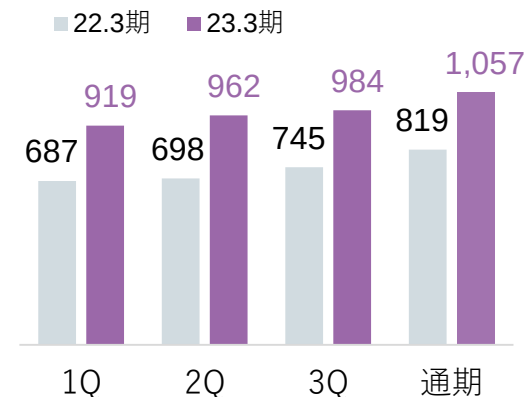
売上高



営業利益



受注残高



通期実績 (前期比)

受注高

- 建設関連車両の減少、林業用機械等の減少

売上高

- 建設関連車両、環境関連車両の減少

営業利益

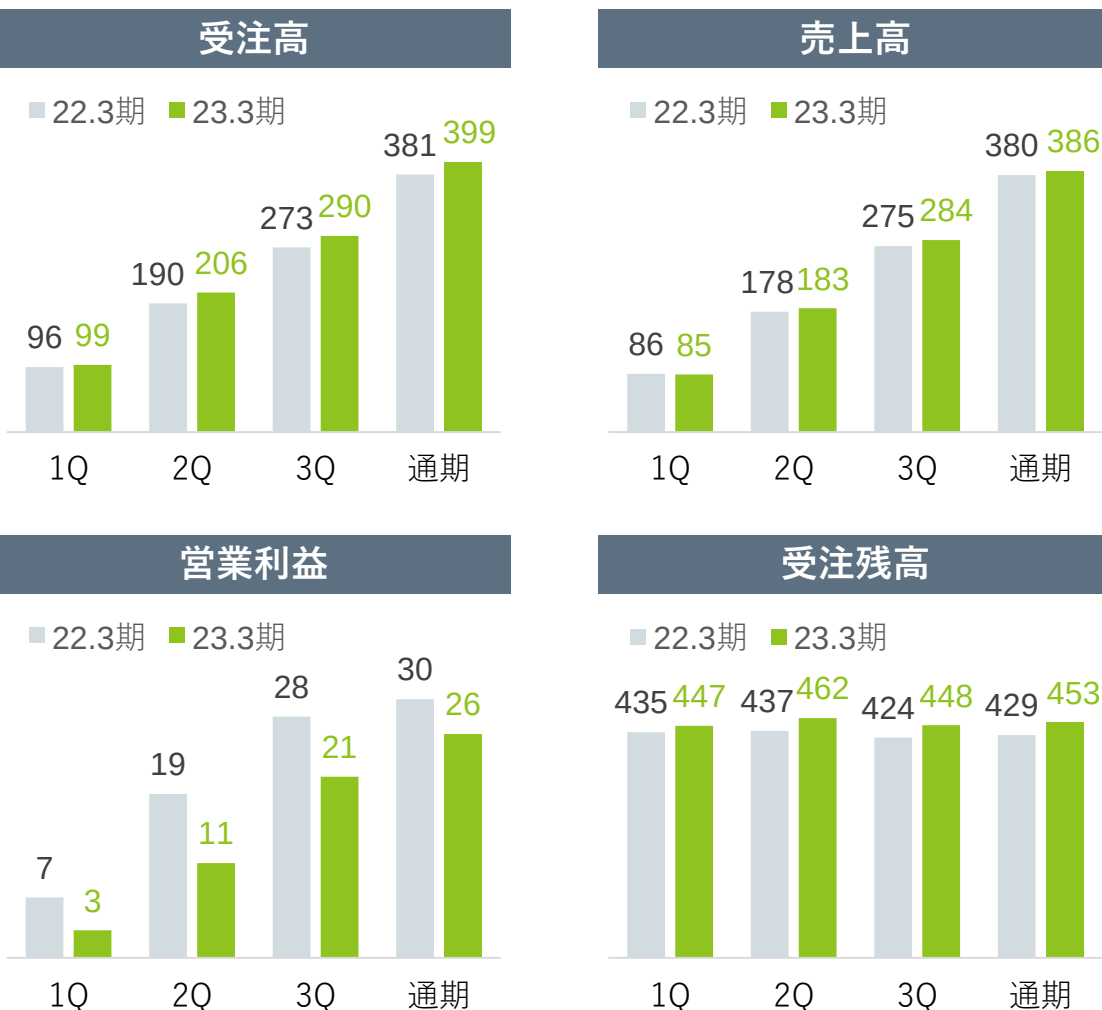
- 減収による減益
- 鋼材価格の上昇等による減益

受注残高の手持月数推移 (単位：カ月) ※

22.3期				23.3期			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
8.9	8.7	9.3	10.1	13.2	13.2	13.3	13.9

※受注～売上の平均期間、受注残高÷1カ月当たりの売上高で算出

業績推移 (単位：億円)



通期実績 (前期比)

受注高

機械式駐車設備：製品（二・多段方式）、改修修理の増加
航空旅客搭乗橋：国内の減少

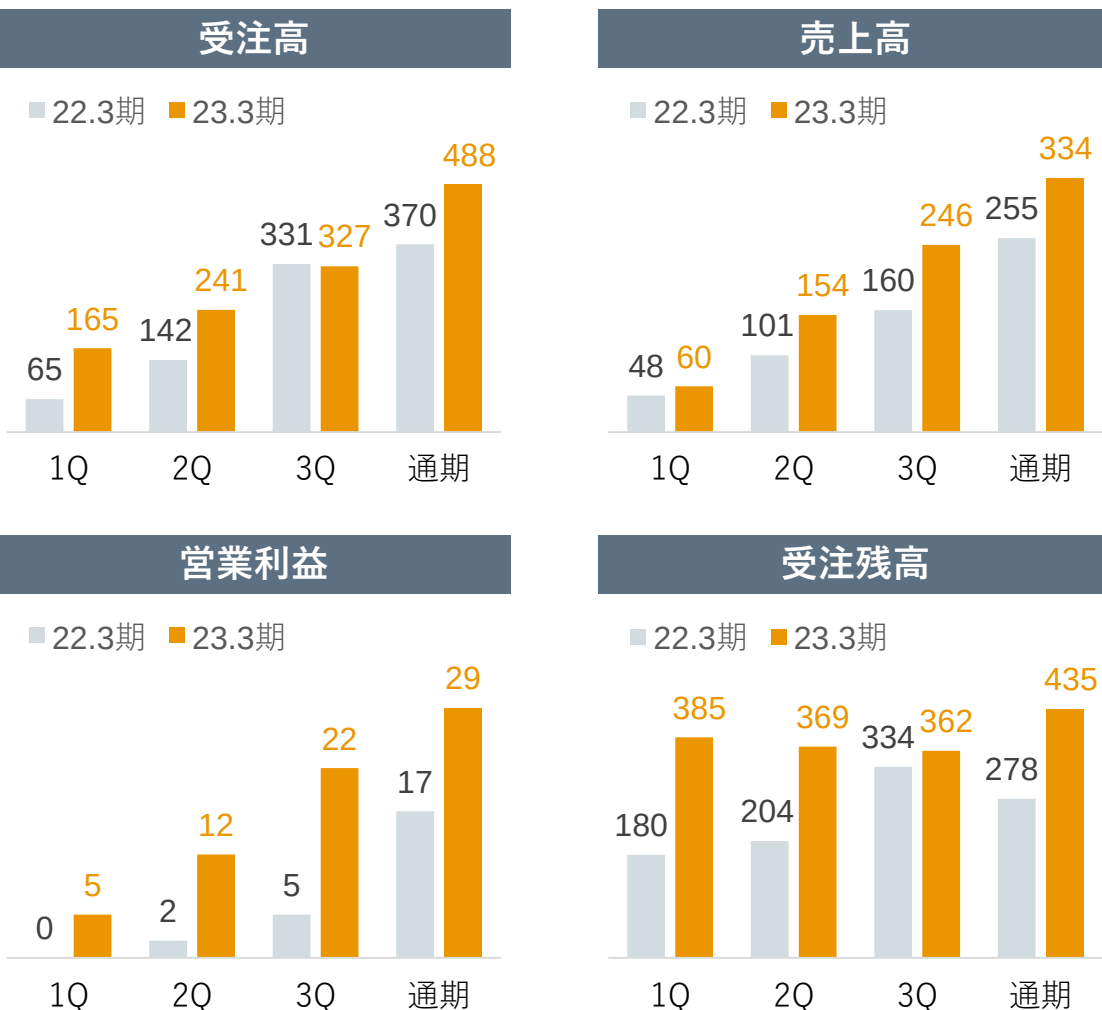
売上高

機械式駐車設備：前期並みの水準
航空旅客搭乗橋：国内、海外ともに増加

営業利益

機械式駐車設備：改修修理の減収による減益
鋼材価格の上昇等による減益
航空旅客搭乗橋：増収による増益

業績推移 (単位：億円)



通期実績 (前期比)

受注高

メカトロニクス製品：真空製品の増加
 環境関連事業：プラント案件およびサービス事業の減少
 （前期は大口（天理市案件）の受注あり）

売上高

メカトロニクス製品：真空製品の増加
 環境関連事業：プラント案件の増加

営業利益

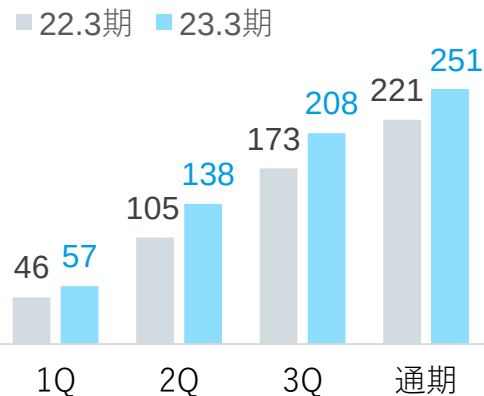
メカトロニクス製品：増収による増益
 環境関連事業：工事損失引当金の増加による減益

サブセグメント別 受注高・売上高推移 (単位：億円)

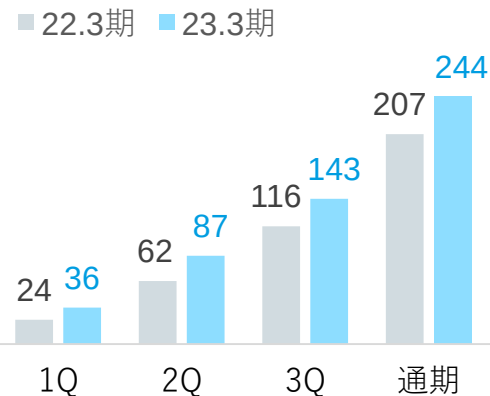
サブセグメント		22.3期				23.3期			
		1Q	2Q	3Q	通期	1Q	2Q	3Q	通期
メカトロニクス製品	受注高	30	77	130	166	125	163	197	341
	売上高	33	68	108	159	44	117	183	236
環境関連事業	受注高	34	65	200	204	39	77	130	146
	売上高	15	32	51	95	16	36	62	97

業績推移 (単位：億円)

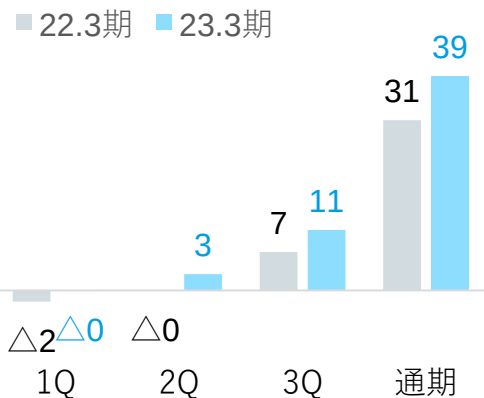
受注高



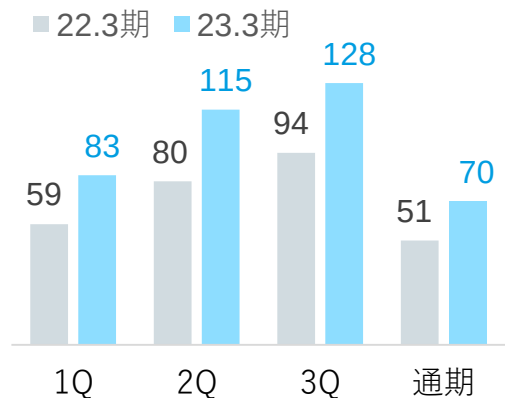
売上高



営業利益



受注残高



通期実績 (前期比)

受注高

- 前期に実施したM&A効果による増加
- 国内官需、国内民需、海外関連の増加

売上高

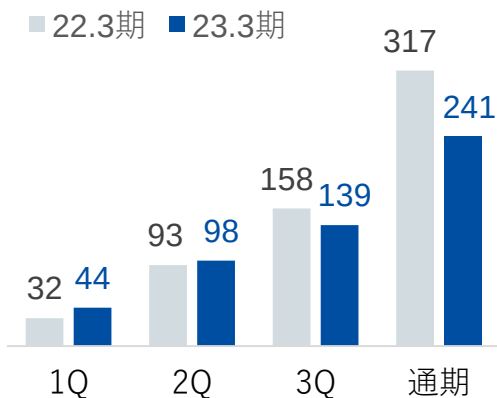
- 前期に実施したM&A効果による増収
- 受注増に伴う増収

営業利益

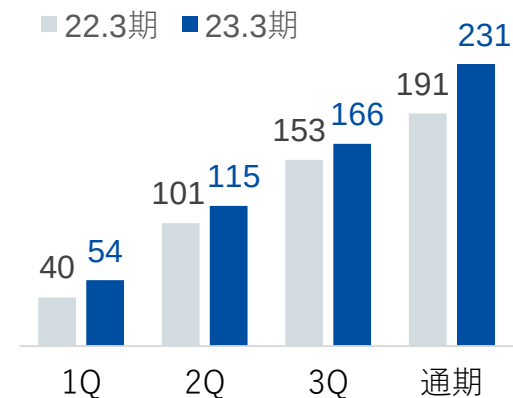
- 前期に実施したM&A効果による増益
- 増収による増益

業績推移 (単位：億円)

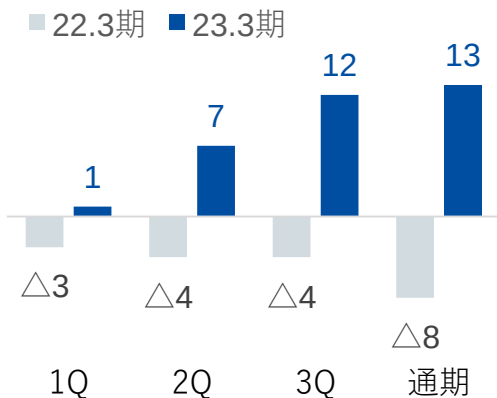
受注高



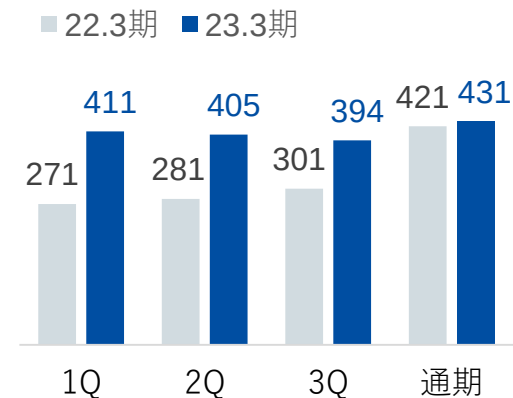
売上高



営業利益



受注残高



通期実績 (前期比)

受注高

防衛省向け：US-2型救難飛行艇関連の減少
民需関連：前期に実施したM&A効果による増加
為替の円安による増加

売上高

防衛省向け：輸送機向けコンポーネントの増加
民需関連：「777/777X」「G7500」生産機数増加
前期に実施したM&A効果による増加
為替の円安による増収

営業利益

原価低減および為替の円安等による増益

民需関連 生産機数

(単位：機)

	22.3期	23.3期
777/777X	22	25
787	30	23
G7500	36	42

為替感応度 (24.3期)

1円/USドルの円安進行で
約0.7億円の営業利益増

2024年3月期 連結業績予想

2024年3月期 連結業績予想 サマリー

(単位：百万円)

	23.3期 実績	24.3期 予想	増減 (増減率)	
受注高	267,159	271,000	+ 3,840	(+ 1.4%)
売上高	225,175	270,000	+ 44,824	(+ 19.9%)
営業利益	9,293	12,000	+ 2,706	(+ 29.1%)
経常利益	9,902	11,700	+ 1,797	(+ 18.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,313	7,300	△13	(△0.2%)
受注残高	255,859	256,859	+ 1,000	(+ 0.4%)
1株当たり年間配当金	45円	45円	—	—
配当性向	40.5%	40.6%	+ 0.1pt	—
為替レート (1USドル)	135.5円	130.0円※		

※ 24.3期 予想の為替レートについては、5月以降の前提レートを表示しています。

前期比

受注高

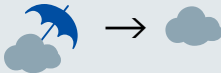
- 「パーキングシステム」「航空機」「産機・環境システム」セグメントが増加することから、全体では増加する（過去最高となる）見通し。

売上高

- 「流体」を除く全てのセグメントが増収となり、全体では増収（過去最高）となる見通し。

利益

- 増収により増益となる見通し。

セグメント	予想	事業環境（見通し）
特装車		➤ 需要は引き続き堅調に推移。主要部品調達遅れ等に伴う生産活動の停滞は回復傾向にあるものの、正常化するのは年明けの見込み。 ➤ 前期初に実施した価格改定効果は、今期から本格的に顕在化するも、前回の価格改定以降、鋼材価格の高騰が更に進行していることに加え、加工費や物流費、エネルギー費等の運営費も上昇しており、増益幅は限定的。 ➤ 今期初から二度目の価格改定を実施。ただし、前期末時点で13カ月を超える受注残高を保有しているため、二度目の価格改定が本格的に売上に反映されるのは来期以降となる見通し。
パーキングシステム		➤ 機械式駐車設備の製品需要は堅調。前期の減益要因となった半導体不足に伴う電気部品の長納期化によるサービス事業の売上減少も、今期は回復に向かう見通し。 ➤ 航空旅客搭乗橋は、コロナ禍で延期、中断していた案件が動き出し、市場は拡大する見通し。
産機・環境システム		➤ メカトロ事業は、EV市場の成長と連動した車載二次電池関連設備の加速度的な投資の増加を背景に、今期も真空乾燥装置の売上規模は拡大する見込み。また、自動電線処理機の市場は底堅く推移する見通し。 ➤ 環境関連事業は、プラント案件の需要が堅調。これに伴うストック事業の増加もセグメント業績を下支え。
流体		➤ 国内官需関連は、国土強靱化計画等による豪雨・浸水対策分野が引き続き伸長、下水処理施設の広域化・共同化、ストックマネジメント推進によるリニューアル&サービス分野が堅調に推移する見通し。 ➤ 国内民需関連は省エネ製品への関心が高く、完全子会社化したTurboMAX Co., Ltd.のターボブロワを中心に需要増。海外関連も同様に底堅く推移する見通し。
航空機		➤ 防衛省向けは、US-2型救難飛行艇の製造進捗等により売上は増加する見込み。 ➤ 民需関連は、ボーイング社向けの製品が回復基調で、生産機数は増加する見通し。

2024年3月期 連結業績予想 セグメント別（前期比）

（単位：億円）

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	23.3期 （実績）	24.3期 （予想）	増減	23.3期 （実績）	24.3期 （予想）	増減	23.3期 （実績）	24.3期 （予想）	増減
特装車	1,141	1,079	△62	913	1,068	+ 154	7	29	+ 21
パーキングシステム	399	483	+ 83	386	436	+ 49	26	31	+ 4
産機・環境システム	488	496	+ 7	334	475	+ 140	29	37	+ 7
流体	251	242	△9	244	242	△2	39	33	△6
航空機	241	284	+ 42	231	308	+ 76	13	16	+ 2
その他	149	126	△23	141	171	+ 29	7	9	+ 1
調整額	—	—	—	—	—	—	△30	△35	△4
合計	2,671	2,710	+ 38	2,251	2,700	+ 448	92	120	+ 27

補足資料

商号	新明和工業株式会社
本社	兵庫県宝塚市新明和町1-1
設立	1949年11月5日
資本金	15,981,967,991円
代表者	取締役社長 五十川 龍之（いそがわ たつゆき）
従業員数	連結 5,932名 単体3,002名（2023年3月末現在）
連結子会社	30社

セグメント別 売上高 構成比 (23.3期)

航空機



その他

特装車



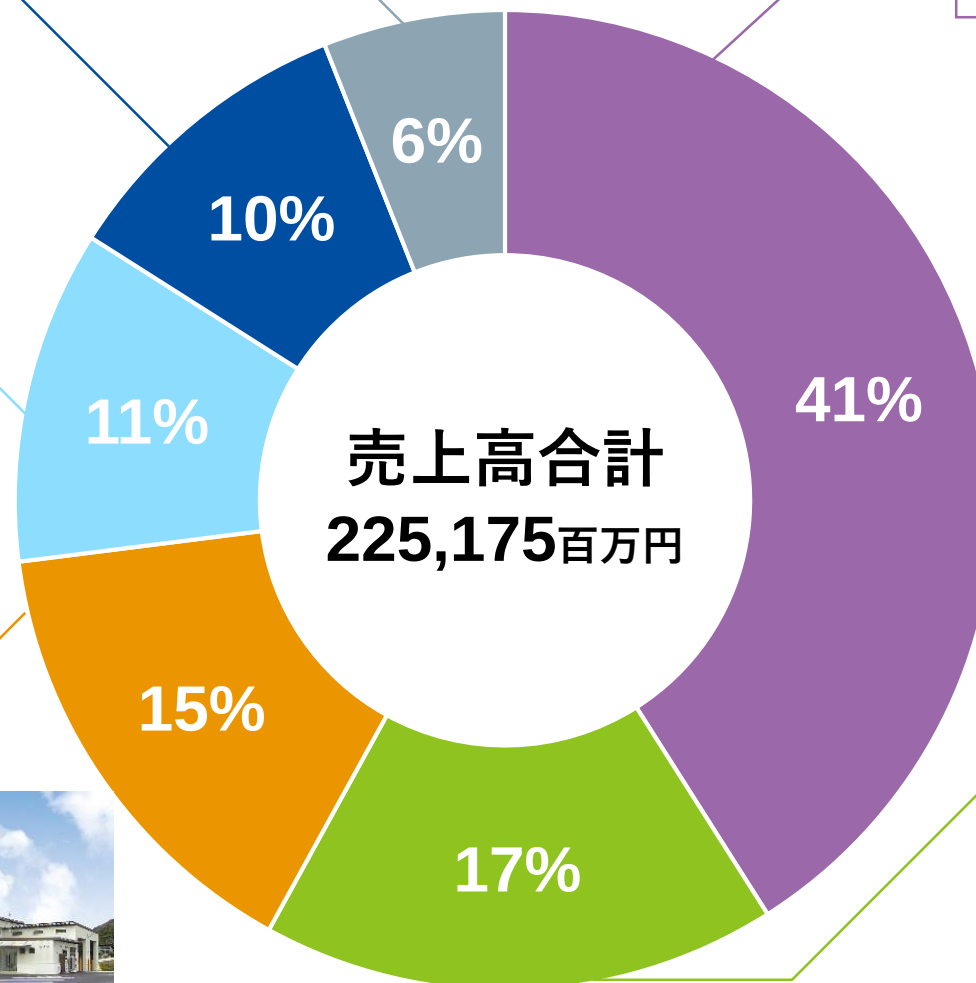
流体



産機・環境システム



パーキングシステム



売上高合計
225,175百万円

(単位：億円)

	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期
受注高	2,148	2,039	2,100	2,097	2,305	2,379	2,218	1,993	2,631	2,671
売上高	1,740	1,931	2,039	2,012	2,073	2,172	2,272	2,092	2,168	2,251
営業利益	108	136	152	130	105	107	128	104	105	92
営業利益率 (%)	6.2	7.1	7.5	6.5	5.1	4.9	5.6	5.0	4.9	4.1
経常利益	114	143	155	132	107	104	123	111	118	99
親会社株主に帰属する 当期純利益	74	91	102	89	70	69	73	54	69	73
受注残高	1,072	1,187	1,245	1,327	1,561	1,773	1,719	1,616	2,103	2,558
海外売上高	360	456	481	430	425	428	432	271	310	463
有利子負債	60	41	20	1	0	498	575	545	522	524
自己資本	951	1,058	1,129	1,182	1,248	823	829	879	924	987
ROE (%)	8.1	9.1	9.4	7.7	5.8	6.8	8.9	6.4	7.7	7.6
ROIC※ (%)	6.8	8.3	9.1	7.7	6.0	5.8	6.5	5.1	5.1	4.4

※ROIC = 営業利益 × (1 - 実効税率) / 投下資本 (= 有利子負債 + 自己資本) の期首期末平均値

業績の推移 セグメント別①

(単位：百万円)

セグメント	項目	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期
特装車	受注高	93,965	91,006	79,649	89,722	91,303	107,463	101,012	94,246	118,662	114,151
	売上高	77,328	84,775	87,462	89,304	90,317	92,333	94,627	94,777	97,190	91,311
	営業利益	5,009	6,929	6,748	8,348	6,313	6,544	6,802	6,707	5,354	707
	営業利益率 (%)	6.5	8.2	7.7	9.3	7.0	7.1	7.2	7.1	5.5	0.8
パーキングシステム	受注高	32,292	29,805	30,674	31,561	55,017	35,797	36,275	37,332	38,133	39,901
	売上高	28,301	27,440	29,359	31,145	31,979	33,863	37,805	35,228	38,099	38,627
	営業利益	899	1,330	1,814	1,850	1,780	2,343	3,223	3,228	3,066	2,686
	営業利益率 (%)	3.2	4.8	6.2	5.9	5.6	6.9	8.5	9.2	8.0	7.0
産機・環境システム	受注高	26,712	28,583	31,899	29,209	30,424	38,533	42,685	36,980	37,052	48,805
	売上高	24,371	27,928	30,155	29,451	30,099	33,810	38,370	37,195	25,560	33,425
	営業利益	2,037	1,878	1,985	2,219	2,468	2,474	2,748	2,989	1,724	2,923
	営業利益率 (%)	8.4	6.7	6.6	7.5	8.2	7.3	7.2	8.0	6.7	8.7

※ 23.3期より報告セグメント区分を見直し、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載しております。
これに伴い、22.3期の数値は組換後の数値で記載しております。

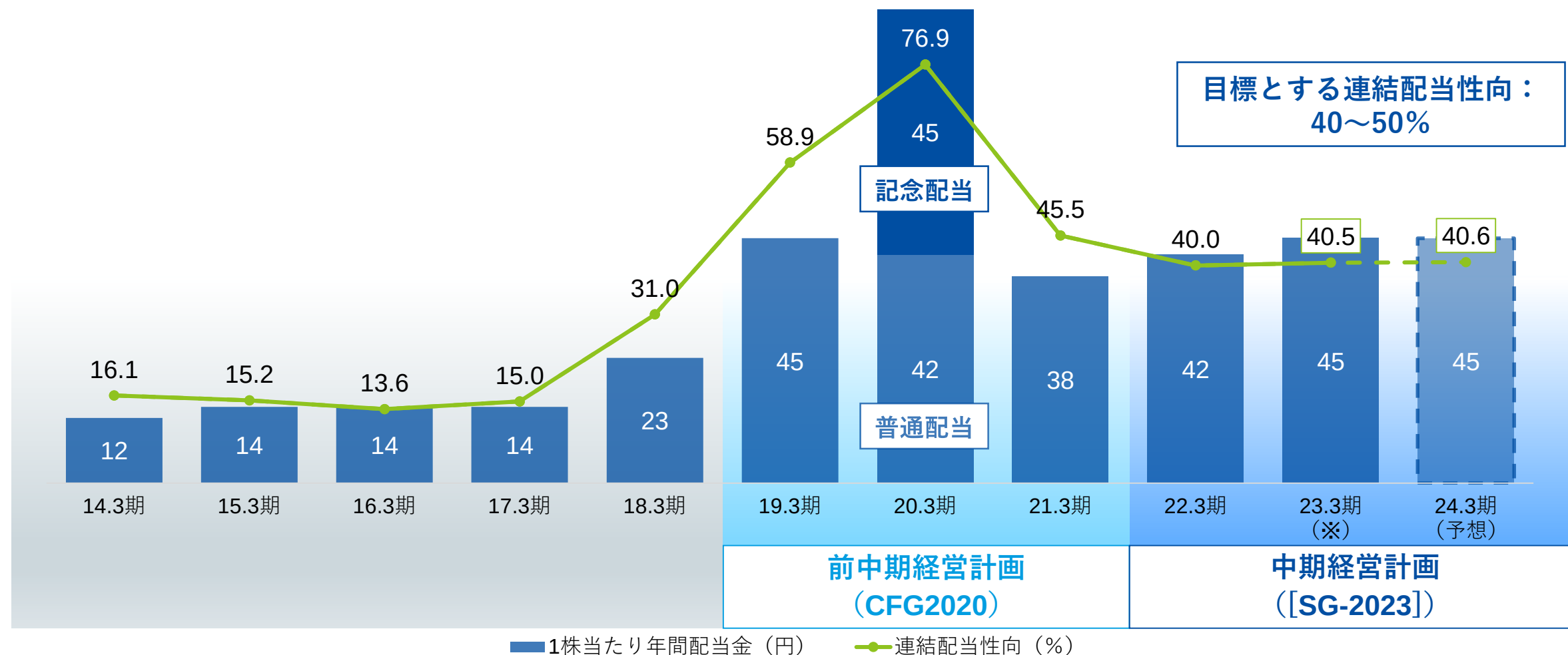
業績の推移 セグメント別②

(単位：百万円)

セグメント	項目	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期
流体	受注高									22,130	25,165
	売上高									20,787	24,485
	営業利益									3,151	3,916
	営業利益率 (%)									15.2	16.0
航空機	受注高	52,556	44,068	55,502	43,741	40,803	35,772	30,393	13,378	31,711	24,187
	売上高	34,067	41,143	47,262	39,028	40,699	43,635	38,950	25,957	19,137	23,136
	営業利益	4,665	5,263	6,546	2,000	1,368	649	1,551	△808	△875	1,397
	営業利益率 (%)	13.7	12.8	13.9	5.1	3.4	1.5	4.0	△3.1	△4.6	6.0
その他	受注高	9,338	10,505	12,340	15,498	13,005	20,336	11,511	17,371	15,472	14,945
	売上高	9,941	11,843	9,677	12,274	14,239	13,654	17,476	16,066	16,047	14,188
	営業利益	318	439	796	960	1,049	1,037	1,193	1,445	955	739
	営業利益率 (%)	3.2	3.7	8.2	7.8	7.4	7.6	6.8	9.0	6.0	5.2

※ 23.3期より報告セグメント区分を見直し、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載しております。
これに伴い、22.3期の数値は組換後の数値で記載しております。

1株当たり配当金と連結配当性向の推移



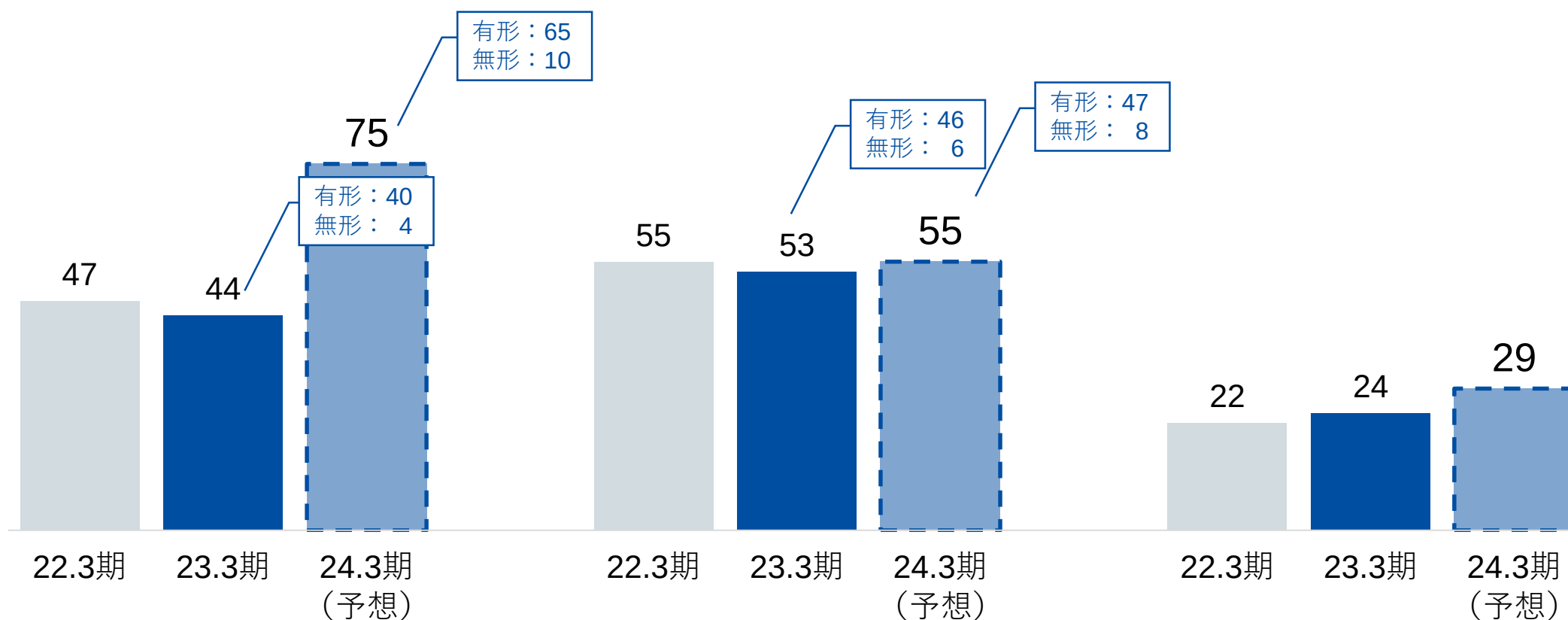
※ 定時株主総会での決議をもって正式決定となります。

設備投資額/減価償却費/研究開発費

設備投資額 (単位：億円)

減価償却費 (単位：億円)

研究開発費 (単位：億円)



海外売上高 セグメント別

(単位：億円)

	特装車			パーキングシステム			産機・環境システム			流体			航空機			その他			合計		
	22.3期	23.3期	増減	22.3期	23.3期	増減	22.3期	23.3期	増減	22.3期	23.3期	増減	22.3期	23.3期	増減	22.3期	23.3期	増減	22.3期	23.3期	増減
日本	930	857	△72	362	361	△1	126	124	△1	172	184	+12	106	118	+12	160	141	△18	1,858	1,787	△70
アジア	15	20	+4	18	25	+6	93	141	+47	24	43	+19	—	—	—	—	—	—	152	230	+78
北米	0	0	+0	—	—	—	21	15	△6	6	9	+3	78	102	+23	—	—	—	107	127	+19
その他	25	35	+9	—	—	—	13	53	+39	4	7	+2	6	10	+4	—	—	—	50	106	+55
売上高合計	971	913	△58	380	386	+5	255	334	+78	207	244	+36	191	231	+39	160	141	△18	2,168	2,251	+83
海外売上高比率 (%)	4.3	6.1	+1.8 pt	4.8	6.5	+1.7 pt	50.6	62.7	+12.1 pt	17.2	24.6	+7.5 pt	44.5	48.9	+4.4 pt	0	0	—	14.3	20.6	+6.3 pt

- 2023年2月 [テールゲートリフタ用オプション「ほたるランプⅡ」を発売](#)
- 2023年2月 [特装車製品の価格改定について](#)
- 2023年2月 [TCFD提言への賛同を表明](#)
- 2023年2月 [AI技術を活用した大型ダンプ用積載量計を発売](#)
- 2023年3月 [役員異動・人事異動・機構改革のお知らせ](#)
- 2023年3月 [連結子会社間の合併及び商号変更に関するお知らせ](#)
- 2023年3月 [「パートナーシップ構築宣言」を公表](#)
- 2023年3月 [「大阪国際空港 広告「それじつは、シンメイワ。」シリーズ デザインをリニューアル](#)
- 2023年4月 [入社式 社長訓示](#)
- 2023年4月 [新明和工業とJALエンジニアリング 戦略的連携協定により日本の航空技術の発展に貢献します](#)
- 2023年4月 [日刊工業新聞に記事が掲載されました](#)
- 2023年4月 [当社特装車製品をご利用の皆さまへ リコール・不具合情報を更新しました](#)



シェアードリサーチ社による
当社の調査レポートはこちら

当社は、投資家の皆さまに当社をより深くご理解いただくことを目的として、株式会社シェアードリサーチに投資に必要な情報を網羅した調査レポートの作成を依頼しております。

調査レポートは、企業分析と当社グループへの取材による情報を、投資家目線で中立かつ客観的に作成されており、決算発表やプレスリリース等に基づき、適宜更新されます。

<https://sharedresearch.jp/ja/companies/7224>

当社事業の理解促進にお役立て下さい。

IRメール配信サービスご登録のお願い

新明和ってどんな会社？



個人投資家の皆様へ >
主要事業をわかりやすくご紹介しています。



研究開発 >
都市・輸送・環境インフラの高度化に取り組んでいます。



サステナビリティ >
経営方針やESGに関する活動を報告しています。



沿革 >
歴史映像や、創業100周年を記念して制作した歴史コミックをご覧ください。



動画ライブラリー >
会社案内や製品を動画でご紹介しています。



ShinMaywa INSIGHT >
社会と暮らしをより安全、便利、スムーズに変えていく新明和グループの取り組みをご覧ください。

IR問い合わせ先

ディスクロージャー・ポリシー

免責事項



個人投資家の皆様へ >
新明和グループを、より知っていただける情報をご案内します。



企業と投資家をツナグ RIMSNET
IR 情報 メール 配信
配信のご登録はこちら



シェアードリサーチ社による当社の調査レポートはこちらをご覧ください。

当社の企業ニュースや財務活動をEメールでタイムリーにお知らせしています。

以下URLからアクセスできますので、ぜひご登録ください。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=7224>



本資料は、新明和工業株式会社（以下「当社」といいます。）またはそのグループ会社（以下「当社グループ」といいます。）に関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする過去の事実以外の情報（以下「将来情報」といいます。）を含む場合があります。また当社の経営陣は将来情報に関する発言を行うことがあります。これらの将来情報の記載は、当社が入手した情報に基づく、本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点における当社の予測を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去の事実以外に、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。

したがって、将来情報は、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。当社の実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性がある重要なリスク要因は多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書等の当社の各種開示書類にも詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来情報に変更があった場合でも、当社はそれらの情報を最新のものに随時更新するという義務を負いかねますのでご了承ください。

また、本資料に記載されている当社ないし当社グループ以外の企業等にかかわる情報や意見は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされるいかなる損害等についても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資に関する判断は、投資家各位の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

新明和工業株式会社